

【令和4年度市町村におけるSDGs推進支援事業（苫前町）】

第4回支援開催概要

令和4年度の支援先市町村である苫前町において、4回目の支援を実施しました。

4回目の支援は、町からの支援希望内容を踏まえ、苫前小学校及び古丹別小学校の6年生の生徒の皆さんを対象に、カードゲームを使用したSDGsの理解促進の授業を実施しました。

苫前町では、令和4年度をもって古丹別中学校が閉校となることから、古丹別小学校の生徒は、令和5年度から苫前中学校に進学します。今回の合同授業は、4月から同じクラスメイトとなる2つの小学校6年生の交流の機会にも位置付け、実施しました。

<概要>

- 日時：令和5年1月30日（月）13:20～14:55
- 場所：苫前小学校体育館
- 講師：ワークショップデザイン describe with 高橋 優介 氏
- 内容：SDGsカードゲームワークショップ「2030SDGs」
- 参加人数：苫前小学校・古丹別小学校6年生21名

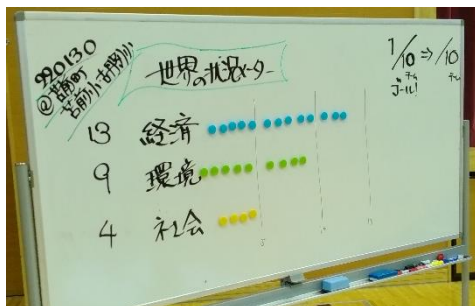
<当日の様子>



(SDGsの説明の様子)



(カードゲーム中の様子)



(前半終了時点)

→序盤、経済が大きく伸びる一方、環境・社会の落ち込みが発生。状況に気づき、対応する行動により、改善が図られました。



(ゲーム終了時点)

→環境・社会が伸びるも、一時的に、経済の落ち込みが発生。最終的には、全体のバランスを取りながら行動できました。

<生徒の様子>

○自分たち（カードゲームのチーム）だけが良ければ良いという考え方ではなく、「自分のチームが他のチームに協力できることを明示」することや「異なるチーム同士が話し合いながら、より良い方法をアドバイス」するなど、カードゲームを通じ、パートナーシップの大切さを体感している様子が見られました。生徒の皆さんは、カードゲームのゴール達成に向けて一生懸命取り組んでいました。